

秋田労災病院

～地域医療連携室だより～

発行日

平成27年7月

当院の特色について

当院の特色は、急性期医療とそれに続く回復期リハビリテーション医療と維持期医療の三つの機能を有することです。これらの三つの機能により継続した医療で社会復帰を支援します。また、この継続した医療は当院で完結する場合と、地域の他の医療機関と連携（病病連携、病診連携）して稼働する場合があります。今後は院内での継続性と他の医療機関との連携の両者を強化し勤労者医療と地域医療に貢献していきます。

回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の患者様に対し、ADL（日常生活活動）能力の向上による寝たきり防止と早期の家庭復帰を目的とした集中的なリハビリテーションを行う病棟です。当院は、脳血管疾患領域においては、大館市立総合病院と「脳卒中地域連携パス」を活用した医療連携を図っており、当地域で急性期医療を終えた脳卒中の患者様が、引き続き安心して地元で回復期医療がお受けいただけるよう体制を整備し、地域医療に貢献しております。

また、当該病棟では、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が患者様に合ったプログラムを協働で作成し、患者様と一緒に実生活の自立を目指します。

障害者病棟

障害者病棟とは、脊髄損傷等の重度の障害、重度の肢体不自由者、重度の意識障害等の患者様が長期療養に専念できる病棟です。

食事介助、排泄、入浴等に関しても患者様の変化を見過ごすことのないよう医師と連携を図り、急激な症状変化等により集中的な治療が必要になった場合は直ちに一般病棟での治療を行います。

また、症状が安定して退院が可能になった場合は、専従の看護師または医療ソーシャルワーカーが在宅復帰、施設入所等のお手伝いをさせていただきます。

* 上記の回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟の詳細については、医事課『医療相談室』（内線2781番）にお問い合わせください。

病床の内訳

○一般病棟 150床 ○回復期リハビリテーション病棟 46床 ○障害者病棟 54床

～秋田労災病院の理念～

当院は、勤労者や地域の人々の健康増進と疾病の予防・治療に取り組み、患者様の人権を尊重し、あたたかく、思いやりのある安全な医療を提供します。

『治療就労両立支援部』とは…

当院では脳卒中の**治療・リハビリ**と就労（職場復帰）の両側面から患者様を支援させていただきます。患者様のサポートは、**復職コーディネーター**が中心となって医師・看護師・リハビリスタッフ等で構成された**両立支援チーム**が協働で関わっていく部署です。

お問い合わせ先

独立行政法人労働者健康福祉機構

秋田労災病院 地域医療連携室

〒018-5604 秋田県大館市軽井沢字下岱30

Tel 0186(52)3131（内線2782）／ Fax 0186(47)7611

◆診療科目◆

内科、糖尿病・代謝内科、消化器科、総合診療・検査診断科、外科、整形外科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、健康診断部、勤労者脊椎・腰痛センター、治療就労両立支援部

当院HP

<http://www.akitah.rofuku.go.jp>

当院facebook

<https://www.facebook.com/AkitaRosai>